

第64回卒業証書授与式 送辞

冬の厳しい寒さも徐々に和らぎ春の暖かさが感じられる季節となりました。

そんな今日の良き日、この唐津西高校を巣立っていかれる卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

先輩方とは、この2年間でたくさんの思い出を作ることが出来ました。まずは、3年生最後のクラスマッチ、さすが3年生と思わせる、レベルの高い先輩方の試合に、目が釘付けになったことを鮮明に覚えています。

部活動ではヨット部、ボート部のインターハイ出場をはじめ、多くの部活動が各所で唐津西高校の名を高め、その伝統は2年生・1年生へと引き継がれています。どの部も、日々の練習の成果を十分に発揮し、各種大会で素晴らしいプレーを見せてくださいました。さらに今年度は全国総文祭佐賀大会の開催もあり、文化部の活躍にも一段と注目が集まりました。全力を注ぎ込んだ先輩方の作品はどれも素晴らしく、今でも私たちの心に焼き付いています。

そして、例年を上回る盛り上がりを見せた令和元年度双松祭。熱心に練習に励まれる姿はとても頼もしく、「この先輩たちについていこう」と自然に思えました。そして迎えた本番、悪天候が続いたことや、例年と異なるスケジュールで思うように練習できなかった中で、あんなに素晴らしい双松祭を作り上げられたのは、応援、バック絵、パネル、合唱、ビジュアルのリーダーの皆さんが、それぞれに任された仕事を、見えないところでも懸命に全うされたおかげです。個人的な話になりますが、役員の一員として関わった生徒会活動では、3年生役員の皆さんが、常に責任感を持ち、積極的に仕事をこなし、学校をもっと盛り上げようと奮闘する、その姿は、私たちの目標となり日々の活動の糧となりました。私たちにとって、先輩方は、これまでも、そしてこれからも、尊敬する自慢の先輩であり続けます。

また、この数カ月間、進路実現を目指し、先生方のご指導の下、熱心に受験勉強に励まれる姿は、これからの私達自身とも重なり、西高生としての自覚を促すものでした。

今世界の人口は約63億人といわれます。その中で私たちが出会えたのは奇跡という他ありません。人は出会いによって人と繋がり、経験をし、新たな知識を得ていきます。その出会い、奇跡を大切にすることで、この先の困難も乗り越えていくことが出来ると私は思います。これからの時代、AI化がいつそう進むと予想されますが、人とのつながりや絆の重さは決して失われるものではありません。これから先の様々な出会いもまた、先輩方により充実した人生をもたらすと思います。その出会いを大切に、これからも人生を謳歌してください。

皆さんの卒業後、ぽっかりと空いた教室を見るのかと思うと、心細さや寂しさで胸がいっぱいになりますが、皆さんの残してくださった伝統を私たちがしっかりと引き継いでいきます。最後になりましたが、皆さんのそれぞれの進路先でのご活躍とご健康をお祈りして、送辞といたします。